

ぼくが 渡った信号は 青だったよ



交差点での歩行者・自転車事故を防ぐために



なぜ、青信号で幼い息子が犠牲に…
交差点の危険性を伝え続ける遺族の想い——



知っていますか？
[歩車分離式信号]



交差点は事故多発地帯



CGIによる解説



事故映像に学ぶ
交差点事故防止のポイント

¥70,000(税別)DVD [本編19分 | 字幕付 | 16:9 | カラー]



英語／English Subtitles、中国語／中文字幕 付き映像収録

●このDVDには字幕付き映像も収録されています。●チャプターを選択して再生できます。

ぼくが渡った信号は青だったよ

—交差点での歩行者・自転車事故を防ぐために—

制作意図

様々な車や人が行き交う【交差点】は事故の多発地帯です。なかでも重大な死亡事故につながりやすいのが、対歩行者や自転車との事故。歩行者・自転車利用者の交通事故死者数は、その半数以上が【交差点とその付近】で起きています。私たちドライバーが日常的に避けては通れない交差点こそ、より一層の注意と安全運転が求められています。

本作では、交差点の左折巻き込み事故で息子を奪われた遺族への取材を通し、事故の恐ろしさと命の大切さを訴えます。さらに、ドライブレコーダーが捉えた交差点での対歩行者・自転車事故を検証して、基本的な交通ルールとともに事故防止のポイントを解説していきます。

作品内容

◆オープニング——青信号で命を奪われた息子

【歩車分離式信号】とは、右左折をする車と横断する歩行者が交わらないように、車と歩行者の青信号のタイミングを分離した信号機のことである。1992年、長谷智喜さんは、当時11歳の息子・元喜君をダンプカーの左折巻き込み事故で亡くした。通学路の交差点で、青信号で横断歩道を渡っていると起きた事故だった。長谷さんは、息子の死を無駄にしたいという想いから、【歩車分離式信号】の普及活動を始め、事故現場にも設置された。現在も交差点事故の危険性を訴え続けている。

◆交差点は事故多発地帯

歩行者・自転車の交通事故死者数を道路形状別の円グラフで紹介。その半数以上が「交差点とその付近」で起きている。私たちドライバーは、どうすれば交差点での歩行者・自転車事故を未然に防ぐことができるのか？

◆事故事例に学ぶ

ドライブレコーダーが捉えた実際の事故映像を検証し、基本的な交通ルールと事故防止ポイントを学ぶ。

①信号機のある交差点 | 歩行者との事故

交差点右折時、横断歩道付近での歩行者との事故事例

- 右折時はドライバーの安全不確認による事故が多く発生している
- 横断歩行者などを見落とさないポイント
- 道路交通法で定められた基本的な右折のルールを紹介
- 危険な「ショートカット右折」の例を事故映像とCGを交えて解説



②信号機のある交差点 | 自転車との事故

交差点左折時、自転車の巻き込み事故事例

- ドライバーの安全確認が不十分のため起きた事故
- 「巻き込み事故防止」のための左折のルール
- 横断歩行者や自転車などを見落とさない運転のポイント



③信号機のない交差点 | 出会い頭の事故

見通しの悪い交差点での、自転車との出会い頭事故

- 「一時停止」の表示がある交差点。
- ドライバーが一時停止を怠ったことで起きた事故。
- より確実な「多段階停止」の解説。
- こちらが優先であっても、「飛び出しがあるかもしれない」と注意する。



◆遺族が伝えたい思い ——エンディング

今もなお、交差点での悲惨な事故が後を絶たない。長谷さんは現在も【歩車分離式信号】の普及活動を続けている。「車の注意は、自分の安全を守ると同時に、他人を加害しないための注意。そのことを分かってハンドルを握ってもらいたい」と語る長谷さん。ハンドルを握ることは、人の命を握っているのと同じ。常に交通ルールを守り、思いやりの心をもって安全運転を心がけてもらいたい。

【取材協力】長谷智喜／長谷かつあ 黒崎陽子 命と安全を守る 歩車分離信号普及全国連絡会【協力】東京都個人タクシー交通共済協同組合 東京都個人タクシー協同組合 政和自動車株式会社
【製作代表】齊藤健太郎【演出・脚本】北川博寛【撮影・制作】市川任男【演出補】遠山慎二【制作進行】國友勇吾【撮影応援】前田大和 板倉大樹 山野目光政
【出演】伊東尚輝、田中圭【ナレーター】北斗智一【CG】伴善徳【MA】尾崎達哉（ブレーン）【英語翻訳】阿部然大（AB'z パートナース合同会社）
【English Subtitles】Zendai Abe（AB'z Partners LLC）【中国語翻訳】コン イーウェン【中文字幕】義忆愛

●お申し込み・お問い合わせは

博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】<http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】info@hakuei-shoji.jp

